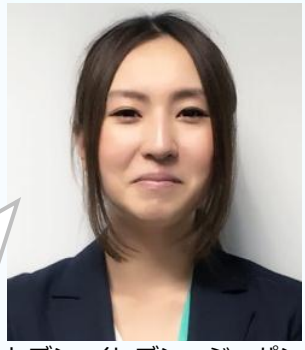
小学校で出前授業を開催！
大阪府「おおさか元気広場」に参加

セブン-イレブン・ジャパン

2016/10/20

セブン&アイHLDGS.
CSRアクション

セブン-イレブン・ジャパンは大阪府と包括連携協定を締結し、地域と連携して様々な取り組みを行っています。この度、大阪府の教育コミュニティづくり推進事業である「おおさか元気広場(放課後こども教室)」にて、子どもの豊かな学びや体験に向けた「出前授業」を開催しました。夏休み期間中、「セブン-イレブンの秘密を知ろう」をテーマに、セブン-イレブンの歴史紹介や接客の練習、ＳＳ（セーフティステーション）活動における「子ども110番」を府内の小学校で紹介。合計で 5校 156名の小学生にご参加いただきました。これからも地域と寄り添って、安全・安心なまちづくりの推進に努めて参ります。



セブン-イレブン・ジャパン
関西ゾーン 総務担当
岡本　沙也佳

ＳＳ（セーフティステーション）活動の説明
先生や保護者の方から「困ったときにはコンビニに駆け込んでよいということを、授業を通して教えていただいて良かった」、「子どもたちが真剣に話を聞いており、緊急時の対応例として役立ったと思う」など、駆け込みに関する取り組みとして高い評価をいただいております。

● ＳＳ（セーフティステーション）活動とは・・・
セブン-イレブンは年中無休で営業することを基本とし、深夜でも明かりが灯り、店内には従業員がいます。そんな特長を生かして、各店舗を「まちの安全･安心の拠点」にしていく取り組みが「セーフティステーション活動」です。子どもたちの見守りをはじめ、青少年環境の健全化、地域の防犯、事件・事故に対する通報、介護補助などにも取り組んでいます。

大阪府との連携による「おおさか元気広場」

セブン-イレブンクイズの様子

接客練習の様子

（写真は泉佐野市内の小学校）

セブン-イレブンクイズでは、「今まで知らなかった事がわかった！」、「友達に自慢したい！」と、大いに盛り上がりました。

接客練習では実際にお辞儀や笑顔の練習を行い、「普段お店にいる店員さんが、どんなことを意識しながら仕事をしているのか知ることができて良かった」という感想も出てくるなど、お店の従業員の仕事を知っていただくきっかけになりました。

●「好きな商品」… 泉佐野市立佐野台小学校の学童の子ども達が作成してくれました

教室では、「セブン-イレブンの店員さんが来てくれるのをずっと楽しみに待っていました！」と、子どもたちが好きなセブン-イレブンの商品を描いて、貼り出してくれました。

地域の子どもたちがセブン-イレブンを身近に感じて下さっているのを改めて実感しました。

これからも地域と寄り添って、安全・安心なまちづくりの推進に努めて参ります。

関連情報

「おおさか元気広場」の実施について、主催の大阪府からプレスリリースならびに松井知事の定例記者会見でも発信されています。（2016年9月7日）

- 大阪府教育庁地域教育振興課　教育コミュニティづくり応援企業・団体ページ
  http://www.pref.osaka.lg.jp/chikikyoiku/renkeitop/index.html